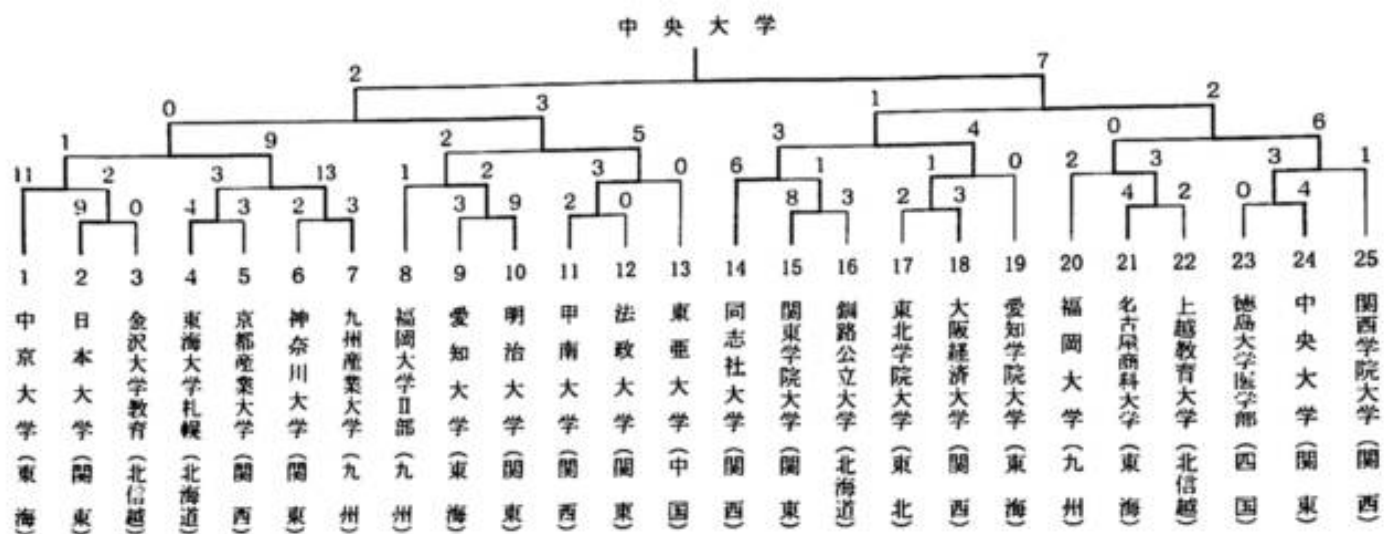


2012年

第64回全日本大学選抜準硬式野球選手権大会

会期：平成24年8月26日(日)～31日(金)

会場：瑞穂公園野球場、熱田神宮公園野球場
半田市民球場、瀬戸市民球場
豊田運動公園野球場



氏名	学年	学部	高校	氏名	学年	学部	高校	氏名	学年	学部	高校
西村 順二	部長			土居 保輝	3	経営	高松商業	石原 輝樹	2	法	県立芦屋
山下 昌起	監督			小林 弘昌	2	経営	岡山東商業	本郷 和希	2	経済	西宮今津
王子 喜章	コーチ			勝田 祥平	4	経営	東福岡	川嶋 航	1	経済	三田学園
岸野 雄太	コーチ			里村 駿祐	4	経営	和泉	芝好 凌	1	経済	甲南
白石 陽菜	4	経済	県立芦屋 マネージャー	森 健太	4	文	夢野台	安丸 晃司	4	法	山田
松下 ルミ	4	文	親和女子 スコアラー	関口 岳	4	法	県立芦屋	福井 勇	4	知能情報	神戸甲北
森本 知樹	4	法	田辺	川本 猛仁	3	文	伊川谷北	岡田 康佑	3	経営	県立西宮
佐藤 弘一郎	4	文	須磨友が丘	大路 健登	3	経済	英数学館	鈴木 彰博	3	経営	甲南
宮脇 健二	3	知能情報	東海大仰星	山川 雄大	2	経済	神港学園	木下 直樹	2	経済	西宮今津
阪本 寛	3	経営	甲南	三原 郷史	2	経済	市立尼崎	下根 佑弥	2	経済	県立芦屋
								中島 悠太	2	経済	六甲アイランド

2012年

第64回全日本大学選抜準硬式野球選手権大会

◎8月27日 半田球場

甲南大学 0002000000 | 2
 法政大学 0000000000 | 0
 (甲) 森本-土居
 (法) 大谷・松田-佐藤
 ☆二塁打 縣(法)

(戦評) 4回に4番土居が右前にタイムリーを打ち先制。続く5番小林のショートゴロの間に2点が入った。甲南、法政両チームともに守備力が高く、甲南大学はピンチになりながらも何度も好守でピンチを乗り切り、法政大学もチャンスであと1本がでなかった。甲南大学の森本投手は法政大学を完封するという力投で2-0で甲南大学が法政大学に勝利した。

甲南大学	打	安	点	振	球	
4	鈴木	3	0	0	0	1
1	山川	4	1	0	1	0
39	勝田	3	1	1	0	0
5	土居	4	2	1	1	0
15	小林	4	0	0	0	0
32	石原	3	0	0	0	0
8	三原	3	0	0	0	0
10	森本	3	0	0	0	0
23	下根	3	0	0	0	0
計						30 4 2 2 1
投手	回	打	安	三	四	責
森本	9	35	7	2	3	0

法政大学	打	安	点	振	球	
8	縣	3	2	0	0	0
10	鈴木	3	1	0	1	0
1	宮川	3	1	0	0	1
23	茨田	3	0	0	0	1
7	阿久津	4	1	0	1	0
6	金子	4	0	0	0	0
12	佐藤	3	0	0	0	1
24	横山	3	1	0	0	0
11	大谷	1	1	0	0	0
15	落合	1	0	0	0	0
9	木村	1	0	0	0	0
計						29 7 0 2 3
投手	回	打	安	三	四	責
大谷	8	28	3	1	1	0
松田	1	4	1	1	0	0

投手	回	打	安	三	四	責
大谷	8	28	3	1	1	0
松田	1	4	1	1	0	0

◎8月28日 瀬戸市民球場

東亜大学 0000000000 | 0
 甲南大学 000000003x | 3
 (東) 幸地-中野
 (甲) 佐藤・森林-土居
 ☆二塁打 小林(甲)

(戦評) 甲南大学は8回、2番山川、3番勝田が出塁し、5番小林の二塁打、7番三原のタイムリーで3点を挙げ、8回まで続いた均衡を崩した。東亜大学は粘りを見せるも、甲南大学ピッチャー佐藤・森林を最後まで打ち崩すことができなかった。

東亜大学	打	安	点	振	球	
(7)	濱田	4	0	0	1	0
(5)	上川路	4	0	0	0	0
(6)	末廣	4	0	0	0	0
(9)	松本	4	2	0	1	0
(4)	米永	4	0	0	0	0
(3)	前田	3	0	0	0	1
(1)	幸地	3	1	0	0	0
(2)	中野	3	0	0	0	1
(8)	西村	3	1	0	0	0
計						32 4 0 2 2
投手	回	打	安	三	四	責
幸地	8	35	8	9	4	3

甲南大学	打	安	点	振	球	
(8)	鈴木	4	0	0	1	1
(4)	山川	4	1	0	1	0
(6)	勝田	4	0	0	1	0
(2)	土居	4	2	0	1	0
(3)	小林	4	2	2	0	1
(5)	石原	4	0	0	0	1
(7)	三原	4	2	1	0	1
(1)	佐藤	2	0	0	2	0
(9)	下根	3	1	0	1	0
代	川本	1	0	0	1	0
(1)	森本	1	0	0	1	0
計						35 8 3 9 4
投手	回	打	安	三	四	責
佐藤	7	25	3	1	0	0
森林	2	7	1	1	1	0

投手	回	打	安	三	四	責
佐藤	7	25	3	1	0	0
森林	2	7	1	1	1	0

◎8月29日 熱田球場

第2試合
 明治大学 2000000000 | 2
 甲南大学 20001101x | 5
 (明) 中村・小出・赤尾-伊藤
 (甲) 森本・佐藤-土居
 ☆二塁打 山川3・下根(甲)

(戦評) 両チーム相手投手の立ち上がりを攻め、それぞれ2点ずつを取りあった後は、テンポの良い試合展開となる。その中で甲南大学は5回、6回、8回と着実に得点を重ねていった。好投していた甲南大学先発の森本は、5回の走塁の際に足を負傷。それでも二番手としてマウンドに上がった佐藤が終盤をしっかりと締めた。明治大学は2回以降、なかなか好機を作れなかった。

明治大学	打	安	点	振	球	
(六)	長谷部	3	0	0	0	1
(七)	岡田	3	0	0	1	1
(九)	小町	4	2	0	0	0
(三)	齋藤	3	0	0	1	1
走	露木	0	0	0	0	0
三	馬場	0	0	0	0	0
(二)	伊藤	3	1	1	1	0
(八)	加藤	3	0	0	2	1
(五)	船木	3	0	0	0	1
(四)	品川	3	0	0	1	0
打	小澤	0	0	0	0	1
(一)	中村	2	1	0	0	0
一	小出	0	0	0	0	0
一	赤尾	1	0	0	1	0
打	佐伯	1	1	0	0	0
計						29 5 1 7 6
投手	回	打	安	三	四	責
中村	4 1/3	19	7	1	3	3
小出	0 2/3	3	0	0	1	0
赤尾	3	13	6	0	0	2

甲南大学	打	安	点	振	球	
(八)	鈴木	3	0	0	1	1
(四)	山川	5	4	2	0	0
(六)	勝田	3	0	1	0	1
(二)	土居	3	3	2	0	1
(三)	小林	4	2	0	0	0
(七)	三原	4	1	0	0	0
(五)	石原	3	0	0	0	1
(一)	森本	3	0	0	0	0
一	佐藤	1	0	0	0	0
(九)	下根	4	3	0	0	0
計						33 13 5 1 4
投手	回	打	安	三	四	責
森本	5	15	3	3	5	2
佐藤	4	13	2	4	2	0

投手	回	打	安	三	四	責
森本	5	15	3	3	5	2
佐藤	4	13	2	4	2	0

2012年

第64回全日本大学選抜準硬式野球選手権大会

◎8月30日 瑞穂球場

第1試合

甲南大学 3000000000 | 3

九州産業大学 0000000000 | 0

(甲) 佐藤-土居

(九) 小田・岩井-高坂

☆二塁打 月宮(九)

(戦評) 甲南大学が初回に4番土居のレフト前タイムリーで先制し、ヒットとエラー絡みで2点を追加し、3点を先制した。投げては先発の佐藤がテンポのよい投球で9回を投げ切って完封した。明日、初優勝へ向けて昨年王者中央大学へ挑む。

甲南大学	打	安	点	振	球	
8	鈴木	4	2	0	1	0
4	山川	4	0	0	1	1
6	勝田	3	0	0	0	0
2	土居	4	1	1	0	0
3	小林	4	2	0	0	0
7	三原	4	1	0	1	0
5	石原	2	0	0	1	2
1	佐藤	4	0	0	3	0
9	下根	3	0	0	2	1
計		32	6	1	9	4
投手	回	打	安	三	四	責
佐藤	9	35	7	4	1	0

九州産業大学	打	安	点	振	球	
9	柴垣	4	3	0	0	0
6	萩野	2	0	0	0	0
5	本田	4	1	0	0	0
3	田中	3	0	0	0	0
7	林田	2	1	0	0	0
走	月宮	2	2	0	0	0
8	横山	4	0	0	0	0
2	高坂	4	0	0	1	0
1	小田	0	0	0	0	0
打	山口	1	0	0	1	0
1	岩井	2	0	0	1	0
打	江頭	1	0	0	0	0
4	尾形	2	0	0	0	1
計		31	7	0	3	1
投手	回	打	安	三	四	責
小田	2	13	3	1	3	2
岩井	7	25	3	8	1	0

決勝戦

◎8月31日 瑞穂球場

第1試合

甲南大学 000000020 | 2

中央大学 02010310x | 7

(甲) 森本・佐藤-土居

(中) 清水・小河原-勝又

☆三塁打 高野・大濤(中)

☆三塁打 大濤(中)

(戦評) 2回裏・中央大学の7番勝又のツーランスクイズで2点を先制。その後4回裏に大濤、鈴木、児玉の三連打で1点を追加し、6回裏に9番大濤の長打などで3点を追加し、7回にも萩原の犠牲フライで1点を追加した。投げては清水、小河原の継投で甲南大学を2点に抑え、2年連続の日本一に輝いた。

甲南大学	打	安	点	振	球	
8	鈴木	3	1	0	0	1
4	山川	4	2	0	0	0
6	勝田	4	1	0	1	0
2	土居	4	0	0	0	0
3	小林	3	0	1	0	0
7	三原	4	0	0	1	0
5	石原	4	0	0	0	0
1	森本	2	0	0	1	0
打	川本	1	0	0	0	0
1	佐藤	0	0	0	0	0
9	下根	3	2	0	1	1
打	大濤	1	0	0	0	0
計		33	6	1	4	2
投手	回	打	安	三	四	責
森本	6	30	7	3	3	3
佐藤	2	9	2	0	0	1

中央大学	打	安	点	振	球	
6	鈴木(雙)	3	1	0	0	2
9	児玉	4	1	0	1	0
7	藤倉	3	0	0	1	0
打・8	武内	2	0	0	1	0
5	高野	4	2	0	0	0
3	萩原	2	1	1	0	0
8・7	赤嶺	4	0	0	0	0
2	勝又	4	2	2	0	0
1	清水	2	1	0	0	1
1	小河原	0	0	0	0	0
4	大濤	4	2	2	0	0
計		32	10	5	3	3
投手	回	打	安	三	四	責
清水	7 0/3	29	4	4	1	2
小河原	1 3/3	8	1	0	1	0



準優勝
甲南大学

春季リーグ戦

◎3/21 舞洲ベースボールスタジアム

和 大 000000000 | 0
 甲南大 10000100x | 2
 (和) 藤井-三矢
 (甲) 佐藤・阪本・森本-土居

◎4/7 明石トーカロ球場

甲南大 310000000 | 4
 和 大 000000000 | 0
 (甲) 佐藤・北垣・鈴木岳・梅川-土居
 (和) 芳元-三矢
 ☆三塁打 山川 (甲)
 ☆二塁打 鈴木博・土居・里村 (甲)
 北村 (和)

◎4/16 ベイコム野球場

甲南大 3300121 | 10
 兵神戸 0000200 | 2
 (甲) 佐藤・北垣-土居
 (兵) 西垣-浜垣
 ☆三塁打 鈴木博 (甲)
 ☆二塁打 山川・鈴木博・中島 (甲)
 川庄 (兵)

◎3/30 久宝寺緑地公園球場

兵神戸 000010013 | 5
 甲南大 00120300x | 6
 (兵) 橋垣・西垣・足立-浜垣
 (甲) 佐藤・宮脇・阪本・鈴木(岳)-土居
 ☆二塁打 川本 (甲)

◎4/10 ベイコム球場

近畿大 000100000 | 1
 甲南大 00000004x | 4
 (近) 梶原-上岡
 (甲) 梅川・森本-土居
 ☆三塁打 小林 (甲)

◎4/25 明石トーカロ球場

大経大 200000000 | 2
 甲南大 00011010x | 3
 (経) 生田-柳生
 (甲) 梅川-土居
 ☆二塁打 中島 (甲)

◎4/6 明石トーカロ球場

甲南大 00000120 | 3
 大経大 01001000 | 2
 (甲) 梅川・森本-土居
 (経) 生田-柳生
 ☆二塁打 小林 (甲)、原 (経)

◎4/12 ベイコム野球場

甲南大 0000000101 | 2
 近畿大 0100000000 | 1
 (甲) 梅川-土居
 (近) 白川-上岡
 ☆二塁打 梅川 (甲)、小見山 (近)

優勝 甲南大学 (45度目)

順位	大学名	甲南大	大経大	近畿大	和 大	兵神戸	勝敗
優勝	甲南大		○	○	○	○	8勝
2	大経大	●		●	○	○	5勝3敗
3	近畿大	●	○		○	○	5勝3敗
4	和 大	●	●	●		△	1勝6敗1分
5	兵神戸	●	●	●	△		7敗1分

※2位・3位はプレーオフの結果による

春季リーグ戦優勝!

【個人賞】

- *最高殊勲選手 鈴木 彰博 甲南大
- *最優秀防御率 白川 大樹 近畿大
防御率 0.38
- *最多勝利投手 佐藤弘一郎 甲南大 4
生田 岳暉 大経大 4勝
- *首位打者 湯本 孝人 近畿大
打率 0.400
- *打点王 原 明大 大経大
8打点
- *本塁打王 該当者なし
3本塁打以上不在のため
- *盗塁王 鈴木 彰博 甲南大 13盗塁
- *敢闘賞 生田 岳暉 大経大

【打撃十傑】

- 1 湯本 孝人 (近畿大) 0.400
- 2 柳生 純平 (大経大) 0.387
- 3 鈴木 彰博 (甲南大) 0.385
- 4 川本 猛人 (甲南大) 0.353
- 5 橋垣 将大 (兵神戸) 0.364
- 6 小林 弘昌 (甲南大) 0.333
- 上田 陽亮 (大経大) 0.333
- 高橋 健 (兵神戸) 0.333
- 9 北村 光 (和 大) 0.321
- 10 勝田 祥平 (甲南大) 0.318

【ベストナイン】

- 投手 森本 知樹 (甲南大)
- 捕手 柳生 純平 (大経大)
- 一塁手 小林 弘昌 (甲南大)
- 二塁手 上田 陽亮 (大経大)
- 三塁手 川本 猛人 (甲南大)
- 遊撃手 勝田 祥平 (甲南大)
- 外野手 鈴木 彰博 (甲南大)
- 外野手 湯本 孝人 (近畿大)
- 外野手 橋垣 将大 (兵神戸)

秋季リーグ戦

◎9/6 ベイコム球場

兵神戸 000044000 | 8
 甲南大 200100001 | 4
 (兵) 橋垣・柴田-浜垣
 (甲) 阪本・土居-上居・大路
 ☆三塁打 橋垣(兵)
 ☆二塁打 橋垣2・鬼頭2(兵)
 山川(甲)

◎9/10 ベイコム球場

和 大 000070000 | 7
 甲南大 000001300 | 4
 (和) 芳元・小野-横田
 (甲) 宮脇・阪本・鈴木岳・梅川-土居
 ☆三塁打 土居・本郷(甲)
 ☆二塁打 横田・河合・前田惇・芳元(和)
 山川・川本(甲)

◎9/12 ベイコム野球場

神外大 000000100 | 1
 甲南大 10000202x | 5
 (神) 小合-松本
 (甲) 鈴木岳・阪本-土居
 ☆二塁打 鈴木彰・小林・三原(甲)

◎9/20 舞洲ベースボールスタジアム

大経大 100000000 | 1
 甲南大 00020200x | 4
 (経) 生田-日野・小川
 (甲) 宮脇-土居
 ☆二塁打 大本(経) 小林(甲)

◎9/22 神戸市総合運動公園サブ球場

甲南大 020014 | 16
 兵神戸 31020 | 6
 (甲) 宮脇・阪本-土居
 (兵) 橋垣・柴田・西垣-浜垣
 ☆三塁打 小林・西山・川島・(甲)
 ☆二塁打 小林・川島(甲)、柴田(兵)

◎9/26 明石トーカロ球場

甲南大 000001001 | 2
 和 大 000000001 | 1
 (甲) 宮脇-土居
 (和) 芳元-横田
 ☆三塁打 松波(和)

◎10/1 明石トーカロ球場

甲南大 35203 | 13
 神外大 00000 | 0
 (甲) 鈴木岳・梅川・阪本-土居
 (神) 倉本・松本-松本・足立
 ☆三塁打 小林2(甲)
 ☆二塁打 小林(甲)

◎10/4 明石トーカロ球場

甲南大 012110000 | 5
 近畿大 000000006 | 6
 (甲) 鈴木岳-土居
 (近) 梶原・白川・尾崎-堀口
 ☆三塁打 西山(甲)
 ☆二塁打 藪内・鳥藤(近)

◎10/10 ベイコム球場

近畿大 000010100 | 2
 甲南大 00100200x | 3
 (近) 梶原・白川-堀口
 (甲) 東川-土居
 ☆二塁打 藪内・小見山・梶原(近)

◎10/12 神戸市総合運動公園サブ球場

甲南大 00010001 | 2
 大経大 0220000x | 4
 (甲) 東川・鈴木岳-土居
 (経) 生田-小川
 ☆二塁打 川島・鈴木岳(甲)

優勝 近畿大学 (29度目)

順位	大学名	近畿大	大経大	甲南大	兵神戸	和 大	神外大	勝敗
優勝	近畿大	○●	○●	○●	○●	○●	○●	8勝2敗
2	大経大	●○	○●	○●	○●	○●	○●	8勝2敗
3	甲南大	●○	○●	○●	○●	○●	○●	6勝4敗
4	兵神戸	●●	●●	○●	○●	○●	○●	5勝5敗
5	和 大	●●	●●	○●	●●	○●	○●	3勝7敗
6	神外大	●●	●●	●●	●●	●●	○●	10敗

※1位・2位はプレーオフの結果による

【個人賞】

- *最高殊勲選手 白川 大樹 近畿大
- *最優秀防御率 白川 大樹 近畿大
防御率 1.03
- *最多勝利投手 白川 大樹 甲南大 6勝
生田 岳暉 大経大 6勝
- *首位打者 上田 陽亮 大経大
打率 0.515
- *打点王 小林 弘昌 甲南大
11打点
西山 竜太 甲南大
11打点
- *本塁打王 武内 昭憲 近畿大
2本塁打
- *盗塁王 該当者なし
10盗塁以上不在のため
- *新人王 川嶋 航 甲南大

【打撃十傑】

- 1 上田 陽亮 (大経大) 0.515 6
鈴木 彰博 (甲南大) 0.371
- 2 橋田 健吾 (近畿大) 0.485 7
芳元 恭大 (和 大) 0.350
- 3 小林 弘昌 (甲南大) 0.471 8
小見山 雄介 (近畿大) 0.346
- 4 小川 和也 (大経大) 0.400 9
川嶋 航 (甲南大) 0.333
- 5 浜垣 貴大 (兵神戸) 0.400
鬼頭 駿介 (甲南大) 0.333

【ベストナイン】

- 投手 白川 大樹 (近畿大)
- 捕手 浜垣 貴大 (兵神戸)
- 一塁手 小林 弘昌 (甲南大)
- 二塁手 上田 陽亮 (大経大)
- 三塁手 鬼頭 駿介 (兵神戸)
- 遊撃手 小川 和也 (大経大)
- 外野手 鈴木 彰博 (甲南大)
- 外野手 橋田 健吾 (近畿大)
- 外野手 小見山雄介 (近畿大)

2012年

思い出



全日出場記念写真@2012夏



全日決勝戦後の一枚@2012夏



全日前最後の練習@2012夏

2012年

思い出



4・1回生 VS 2・3回生@2012夏

清瀬杯@2010夏



佐賀合宿@2011春



初めての鹿児島合宿@2010春

思い出

野球の楽しさを実感し、人間としても成長できた4年間

私たちの学年は部員8名、マネージャー3名の計11人でした。一言で表すと、私も含め全体的におとなしく、リーダーシップを取って全体を引っ張っていくことが苦手であった学年だと思います。そのような学年が最終的には、全国大会で準優勝の成績を残せたことが今でも最高の思い出になっています。

下級生の頃は、いつも先輩方に引っ張って頂き、楽しく野球をさせて頂きました。先輩たちのチーム全体の目標に向かって取り組む姿勢やメリハリのある雰囲気、私自身としても居心地が良く、全員が一丸となって戦っていることも実感することが出来ました。

一方で、学年が上がるにつれて、自分たちがある程度の役割を与えられる中で、どのようにすれば、チーム全体の一体感が生まれるのか？について悩んでいく日々でもありました。

特に最上級生になってから、秋季リーグ戦では私立大には全く勝てず、チームとしてのまとまりを失っていた時は本当にしんどい想いを経験しました。正直、「もう野球は終わりでもいいかな？就職活動に集中しよう」とも思った時もありました。

一方で、このままで引退したくない、先輩たちと一緒に野球をしていた時の楽しい感覚をもう一度味わいたいとの思いで何度もみんなで話し合ったことが今も鮮明に覚えています。当時のミーティングでは、目指すべき方向性が定まった訳ではなく、ただ単に、それぞれの思い・考えを伝えたことに過ぎなかったのですが、一つのきっかけになり徐々に変わっていったのだと思います。最後まで、自分たちの学年がチームを引っ張ったとの感覚がなく、後輩たちにもたくさん助けてもらいました。最終的に、全国大会では本当に楽しく試合をすることが出来ました。

月日が経過した今でも、当時のメンバーが集まれば、悩んだことも含め良い思い出話になっています。準硬式野球部の選手が中心となったチーム運営は、本当に多くのことを学ばせて頂きました。今更ではありますが、当時の指導者の皆様はじめ、私と準硬式野球を通して関わった皆様に感謝申し上げます。